

概要	○ 令和6年10月30日（水）、島根県大田市に所在する養鶏場（約40万羽）において鳥インフルエンザの疑いが発生し、翌31日（木）、検査の結果、鳥インフルエンザ陽性が確定。 ○ 31日（木）0300、陸上自衛隊第13偵察戦闘大隊長（出雲・島根）は、島根県知事から鶏の殺処分等の支援に係る災害派遣要請を受理。 ○ 同日0900より、陸上自衛隊第13偵察戦闘大隊を主力とする部隊が殺処分等に係る支援を24時間態勢で実施。 ○ 2日（土）1430、自衛隊実施分の殺処分支援について完了し、じ後の防疫措置は自治体のみで可能となったことから、 陸上自衛隊第13偵察戦闘大隊長は島根県知事から災害派遣撤収要請を受け、活動を終了。
活動部隊	○ 陸上自衛隊：第13偵察戦闘大隊（出雲・島根）、第304施設隊（出雲・島根）、第8普通科連隊（米子・鳥取）
活動態勢	○ 隊員約300名がローテーションにより、24時間態勢で実施。 ○ 約40万羽のうち、自衛隊は発生鶏舎及び隣接鶏舎の約13万羽を実施。
活動内容	○ 鳥インフルエンザが発生した養鶏場における殺処分支援 等

位置関係

陸上自衛隊出雲駐屯地

陸上自衛隊米子駐屯地

約20km

約75km

発生現場（島根県大田市）

【凡 例】

- : 活動地域
- : 駐屯地

活動写真

The left photograph shows a group of personnel in white protective suits standing in a line, with one person kneeling in front of a whiteboard. The right photograph shows a close-up of personnel in protective suits working at a table.